

# 「碧樹館プログラム」第23期塾生を募集

～九州からアジア、世界を変えていく次世代リーダーを育成～



橋田 紘一  
理事長兼塾長

## 卒塾生が700人突破、『人財の森』着々

2004年4月に九州の産学官界の連携で設立され、次世代リーダー育成のための教育事業を展開する特定非営利活動法人九州・アジア経営塾（通称KAIL）。その主要な「碧樹館プログラム」では、昨年春の第21期生卒塾で卒塾生が700人を突破し、その『人財の森』は着々と大きくなっている。

KAILは少子高齢化やグローバル化などで社会・経済構造の大きな転換を迫られる中、ここ九州に欧米型ビジネススクールとは一線を画し、「現代の松下村塾」をつくらう」という熱い想いで設立された。組織を動かし変革できる30～50歳の経営ミドルや役員、事業承継者などを対象とする碧樹館プログラムでは各界の最前線で

活躍する著名な講師を招き、徹底した討論をはじめ講師と塾生が互いに切磋琢磨し学びながら、そこで得られた気付きを塾生自身が実践し、「自らの基軸」を確立していく戦略的リーダー養成が特長だ。

各モジュール（学期）の「集合学習」と、その後での「反すう学習」、塾生自ら課題を選定し変革のための処方箋を描く「KAILプロジェクト」の3つを柱に展開し、その受講時間は230時間超におよぶ。第22期からは各企業で進む働き方改革を念頭に、従来の隔週土・日曜日開催を「金・土曜日」開催に改め、多様なライフスタイルや現代の働き方に配慮した。また、目覚ましい躍進を続け

## 相互研鑽の継続で社会へ

卒塾した707人のうち所属企業・団体のトップ就任者は70人超、役員経験者も300人を超を数えるなど、さまざまな分野や立場で活躍している。卒塾後も同窓会組織「碧樹会」を通



昨年3月、八女市での建塾20周年記念の植樹イベントでは卒塾生673人分の“早成桐”を植樹（写真は九電ドローンサービス様提供）

## ギフトを返す

るアジア各国へのフィールドトリップ（研修旅行）を秋に敢行。橋田紘一塾長は「第23期は日本政府が戦略的パートナーと位置付け、EUなどへの生産・販売拠点として日系企業の進出が加速するトルコへの訪問を計画。今後もアジアにフォーカスしたカリキュラムを強化していく」と語る。このほか、県外への研修合宿も予定している。

してタテ・ヨコ・ナナメの人的ネットワークの場を提供するのにも大きな特長だ。建塾以来、相互研鑽の継続によって社会へ「ギフトを返す」『人財の森』になることを目指し、昨年3月に

は碧樹会主催の建塾20周年プロジェクトとして八女市で植樹イベントを実施した。

その碧樹館プログラムでは2月1日から4月上旬まで第23期生（6月下旬開講、来年4月下旬修了予定、定員36人）を募集する。橋田塾長は「混沌とした世の中だからこそ、自ら考え、決断するリーダーが必要となっている。KAILは異業種交流や研修旅行、合宿、修羅場をくぐってきた先輩たちとの対話やディスカッションを通じて、塾生のマインドチェンジを促す場だ。九州を起点に日本、アジア、世界を変える、そんな尚志を持った人の入塾をお待ちしている」と話している。

KAIL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

特定非営利活動法人 九州・アジア経営塾

碧樹館プログラム  
第23期  
2026年6月開講

募集要項はコチラ！

KAIL